

登録コード	A9Y01900	開講年度	2026				
授業科目	職業指導					担当教員	小山 茂喜 他
英文授業名	Vocational guidance						飯沼 尚隆
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限	対象学生	
講義室	農学部 1 4 番講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 0 2 5 Aカリ						
	【2025年度以降カリキュラム対象】1. 【教養・基礎学力】 豊かな教養と農学分野における基礎学力が身につけている。				⇔	職業教育・職業指導の教育的意義とその歴史を学び職業の原理と領域について理解し、職業指導の指導法を身につけている。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	学校教育における職業指導は教科指導とともに、指導領域の中では最も重要な指導である。職業教育・職業指導の教育的意義とその歴史を学び職業の原理と領域を理解し、職業指導の指導法を理解する。						
(5)授業計画	第1回：職業の発生と変遷①（ガイダンス、職業の発生と変遷の概要） 第2回：職業の発生と変遷②（雇用システムの変化と課題） 第3回：職業教育の意味（職業教育とは何か） 第4回：職業指導の起源と歴史（明治～現代） 第5回：職業指導の定義と教育的意義（職業指導の理論と成立過程） 第6回：職業指導とキャリア教育・職業教育（相違点と関連性） 第7回：職業指導と進路指導・生徒指導（相違点と関連性） 第8回：職業適性①（自己理解の指導） 第9回：職業適性②（職業適性検査） 第10回：職業指導とカリキュラム（職業指導に関するカリキュラム構成） 第11回：職業指導の指導法①（職業指導の組織） 第12回：職業指導の指導法②（キャリアプランニングの指導） 第13回：職業指導の指導法③（就職指導の実務） 第14回：職業指導の指導法⑤（労働関係法規の指導） 第15回：職業指導の指導法⑥（学校から社会・職業への円滑な移行） 授業アンケート						
(6)自主学習の指針	高等学校におけるキャリア教育の実践等について、ネット等で公開されている実践を調査し、授業の中で発言等できるようにしておくこと。						
(7)成績評価の基準	与えられた課題において①講義内容をもとに説明でき（C段階）、②課題を見出して自己の意見を述べ（B段階）、③実践方法を適切に把握して高校教育に活かせる内容（A段階）として担当教員を感心させるもの（S段階）であるかを評価する。						
(8)事前事後学習の内容	授業の進捗状況による指示に従って、「高等学校キャリア教育の手引き」「高等学校学習指導要領」、労働関係法規等について、整理・把握して授業に臨むこと。 授業計画の内容について、インターネットなどで公開されている文部科学省、厚生労働省等の資料に目を通しておくこと。 配布資料等の内容を整理し、自らが行う指導実践計画の素案を作ること。						
(9)テストやレポートの予定	内容の区切りごとに課題または小テスト、全講義終了時に課題レポート						
(10)成績評価の方法	原則として出席率6割以下は受講者として認めない。 受講態度20%、内容の区切りごとのレポート40%、講義終了時の課題レポート40%						
(11)質問、相談への対応および連絡先	少人数の授業であるので、できるだけ授業内で質問相談に答えていく。メール、電話でも対応する。						
(12)履修上の注意	将来の高校農業教育を担う教員を育てる授業であり、また受講者自身の職業生活を考える場でもある。幅広く興味を持って、積極的な学習姿勢を期待する。						
【教科書】	各回の授業時に、プリントを配布する。						
【参考書】	高等学校キャリア教育の手引き（文部科学省） 高等学校学習指導要領（文部科学省） 高等学校学習指導要領解説 総則編（文部科学省） その他、授業中に適宜紹介する。						